

吸着POPを含めた マイクロプラスチック分析

調査計画の立案から、試料採取・分析・解析、吸着POP分析まで、
トータルサポートします。

「マイクロプラスチック」の問題とは？

近年、環境中に排出されているマイクロプラスチック(MP:Micro Plastics)が問題となっています。

プラスチックは世界各国で多種多様な用途に使用され、その一部は不適切な管理によって環境中へ排出されています。排出されたプラスチックは河川等を經由して海域へ移送され、劣化・破砕により微細化し、直径5mm以下のものは「マイクロプラスチック」とよばれています。

マイクロプラスチックは、生物の体内に取り込まれることや、残留性有機汚染物質(POP:Persistent Organic Pollutants)を吸着してその輸送媒体になることが報告されており、私たちの生活や自然生態系に与える影響が懸念されています。



マイクロプラスチック分析 社内一貫体制で実施します。

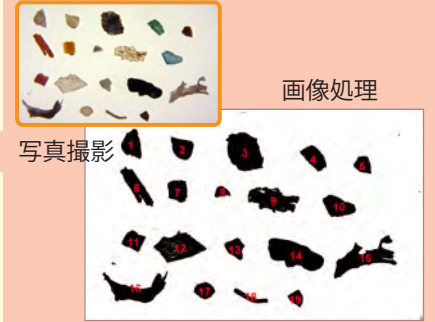
1. 前処理



2. 選定作業



3. サイズ計測



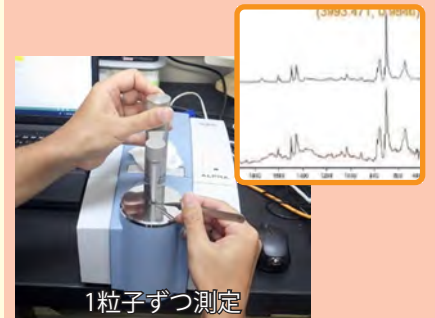
オプションサービス

残留性有機汚染物質(POPs)分析



- 試料
- 超音波抽出
- 脱水
- 濃縮
- 多層カラム
- (GPC)
- 濃縮
- 定容

4. 素材の特定



マイクロプラスチック分析のご相談・ご依頼は当社まで!!

■ 最新分析技術に対応

当社は、2019年5月に公表された、海洋におけるマイクロプラスチックの分布実態把握のための調査・分析法の国際的なガイドライン*の策定に携わっています。また、顕微IRを用いたより微細なマイクロプラスチック分析体制も整えています。

■ 吸着POPs分析に対応

当社は様々なPOPsがマイクロプラスチックに吸着することにいち早く着目し、その分析技術を開発しました。

■ さまざまなフィールドに対応

当社がこれまでに調査・分析を実施したフィールドは、海洋、河川、下水処理排水、最終処分場、海底泥、土壌等多岐にわたり、豊富な経験と実績があります。

■ お客様のニーズに合わせたご提案

ご要望に応じて、調査計画の立案から、試料採取、マイクロプラスチックの分析・解析、吸着POPsの分析、データ解析までを社内の一貫した体制で対応いたします。

* Guidelines for Harmonizing Ocean Surface Microplastic Monitoring Methods (Version1.0, May 2019)

お問い合わせ先

営業本部 事業推進部

TEL : 03-4544-7606 E-mail : idea-quay@ideacon.jp

